

US OPEN JUNIOR 2015

Tournament Report 2015 8,31~9,9



主催 全国高等学校体育連盟 テニス専門部

報告者 福島県高体連テニス専門部 佐藤直樹

全国高体連テニス専門部 U S O p e n J r 遠征事業

2015, 8, 31～9, 9

参 加 者

選手 望月勇希（清風高校）

清水映里（山村学園高校）

団長 家弓明丈（全国高等学校体育連盟 テニス専門部部長）

監督 内藤美明（全国高等学校体育連盟 テニス専門部副部長）

コーチ 佐藤直樹（福島県高等学校体育連盟 テニス専門部委員長）

コーディネータ 上田 篤（アメアスポーツ）



8/31 18:30 結団式（ホテル日航成田）

家弓部長より

今回の海外遠征はデビスカップ日本代表の植田監督よりお話が合ったように勝ちに行ってもらいたい。望月選手や清水選手両2名の選手には可能性を秘めているので、予選を勝ち上がり本選へ進み挑戦し、日本代表として頑張っていたきたい。

望月選手より

USOpenJrに出場に当たり、日本の代表として予選を通過し本選でも勝ち進み優勝目指して頑張っていきたい。

清水選手より

今回のこのような事業に参加でき、先生方や携わっていただいた方々には大変感謝しております。試合に関しては望月選手と同様に予選を突破し本選で少しでも多く試合ができるように頑張っていきたい。

9/1 成田空港 Am 11:15 JAL 004 フライト

選手団全員で朝食後ホテルのバスで成田空港まで移動。

ホテルの方や、空港の方まで選手へ応援の声をかけていただきました。成田空港出発ロビー入口で清水選手の山村学園高校監督吉村先生が見送りにサプライズ。

「皆さん体調に気をつけ、頑張ってきてください」と激励の言葉をいただき、現地時間 11 時 JFK 空港到着。

入国審査では 1 時間半も待ち時間がありましたが、少し緊張して監査官へ笑顔で Hello !

素気ない対応 「指紋とるよ、右 4 本指、次右親指、左 4 本指、左親指、何しに来たの？ 何日間滞在？」 こんな感じで終了でした。早口でしかもはっきり言わないので聞き取りにくかったです。



練習前に地下鉄の乗車レクチャーを受け、会場までの行き方など実際に一駅乗車して確認しました。

練習

ジョンマッケンローテニスアカデミーで、時差ぼけの中ではあるが、90 分間の練習をすることが出来ました。



9/2

舌（ゼツ）コーチとニュージャージーの州営テニスコートを利用し、しっかりと4時間練習することができました。このテニスコート使用料はなんと無料でテニスの愛好者がよく訪れる場所です。

そこに、地元の高校生がやってきて US Open Jr に出場することを伝えると是非いっしょに記念写真を撮るということで練習終了後に記念撮影をして交流を図ることができました。



また、会場確認のために地下鉄でニューヨーク郊外にあたるフラッシング・メドウの USTA ナショナル・テニス・センターに向かいました。駅を降りるとそこは US Open の大会ムード一色で、人々は同じ方向に向かって会場入りしていました。

入場する際には大きなバッグなどの持ち込みが禁止され、荷物がある場合にはロッカーに収容するように指示されました。また、バックの中身を確認及び空港にある金属探知機をくぐり入場することができました。セキュリティ対策は万全のようですが入場に1時間の時間を費やしました。



両選手の試合に向けての決意から終了まで



望月勇希（清風高校）選手 より

8/31

決意表明

この US オープンに出場できてすごくワクワクしています。予選で負ける気はないので、しっかり予選を勝ち抜き、本戦で活躍できるように楽しみながら頑張ります。一緒に引率してくださる高体連の先生方々、ウィルソンの方々に感謝し、とても親切で安心してアメリカに行くことができて良かったです。

9/1

到着。練習は 1 時間しました。13 時間のフライトと寝不足で体がすごく疲れていたけど、練習できて良かったです。US オープンのハードコートにはやく慣れるようにしたいです。夜ご飯は日本食のレストランに行きカツ丼を食べました。

9/2

時差ボケですごく体が重かった。練習は外のコートで 4 時間しました。外でできたのですごく良かったです。現地のテニス部の高校生達と交流し、記念写真を撮りました。

昼も夜も日本食を食べました。一緒に練習をしてくださっている舌さんに車でアメリカの色々な場所に連れってもらいました。すごく綺麗な街や、絶景スポットをみました。良い思い出ができました。

明日は会場入りします。昼から会場練習する予定です。はやく会場に行きたくてワクワクしています。コートに慣れ、明後日の試合で良いパフォーマンスができるように調整したいです。

9/3

今日は会場練習をしました。練習相手が ITF ランキング 25 位の人と打てたので試合前にはすごく良い相手と練習ができました。明日の試合に向け、雰囲気やコートの感覚などを確かめられたので良かったです。明日の試合はしっかり自分のテニスをし、楽しんでコートの中で良いプレーしたいです。出だしはしっかりキープから入りたいので、試合前に最終調整したいと思います！

暴れてやります！



9/4

予選 1 回戦。相手の選手はオーストラリア人で 1-6.4-6 で敗れてしまいました。コートの中で自分のプレーが全く表現できず、そのまま終わってしまった感じです。ファーストゲーム、自分のサービスで 30-0 から少し守りに入ってしまったのがこの試合の敗因かと思います。2 セットは少しずつプレーが戻ってきた感じがしたのですが、時すでに遅し。ショットは相手に負けてなかったのにすごく残念です。

でも、海外の試合出られて、外人と試合ができたのはすごく良い経験になりました。もっと海外で試合をしたいとすごく思いました。今日はリフレッシュするためにめちゃ寝たいと思います。



9/5

今日はフェデラーの試合を観戦しました。僕の1番好きなプレーヤーを見られてすごく興奮しました。歓声に圧倒され良い刺激になりました。

夕食はステーキハウスに行きました！めちゃくちゃでかいステーキがでてきてびっくりしました！それにめちゃくちゃ美味しかったです！なかなか味わうことができないおいしさでした！夕食が終わるとエンパイア・ステートビルに登りました。夜の街並みは綺麗で絶景でした！そのあとはブロードウェイを通り、アメリカの文化の違いなどを体感しました。

明日も試合観戦します！ジョコビッチの試合が楽しみです！



9/6

今日はアーサ・アッシュ・スタジアムでジョコビッチのナイトセッションを見ました！観客の数がとてつもなく多くてびっくりしました！その中でプレーしている選手達はものすごくすごいと感じました！

試合を見る中で多くの刺激を受け、それをこれから生かしていこうと思います。テレビで見めるのと生で見るのは天と地の差があります。この経験は貴重なものすごく良かったです！もっとテニスが面白くて、奥が深いと感じました！テニスがさらに好きになりました！

高体連の皆様に感謝しかないです。ありがとうございました。





清水映里（山村学園）選手 より

8/31

決意表明

まずは予選で本戦にあがる事を目標に、周りの人たちへの感謝をがんばります。一緒に引率して下さる先生方やウィルソンの方達がとても優しく、親切でとても安心しました。

9/1

到着。寝不足で時差ぼけもあり、練習はしましたがとても疲労感がたまっていました。コートもすごく跳ねるコートで慣れるのに時間がかかりそうです。

夜ご飯は日本食でカツ丼を食べました。とても美味しかったです。

9/2

時差ぼけがまだ治らず、練習は4時間弱しましたが、体が少しおもかったです。でも、外のコートで出来て良かったです。現地のテニス部の高校生達と交流し、記念撮影を撮りました。お昼も夜ご飯も日本食を食べました。そして舌コーチに車で色々なところに連れて行って頂きました。絶景が見えるスポットや、日本食のあるショッピングモールのようなところでした。夜ご飯がすごくおいしかったです。

明日は会場練習をする予定です。会場の雰囲気やコートサーフェスなど早く行って味わってみたいと、わくわくしています。

9/3 会場練習



9/4

予選1回戦。0-6 4-6 で初戦敗退です。なかなか自分のプレーができず、ファーストセットはあっさり取られました。切り換えてセカンドセットはしっかりと打ち自分の展開にもっていかれたりやりたい事ができたりしたのですが、相手の方が試合慣れもしていたし私よりも無理をせず展開をしていて余裕もありました。少しリードしたところでしっかりと取れなかったり、ブレイクした後のサービスゲームをあっさりブレイクされたり、まえに入っての攻撃の姿勢がたりなかった

り、まだまだ課題がたくさんある事に気づかされました。そして US Open という素晴らしい大会で試合をする事ができて、とても楽しかったです。でもやっぱりとても悔しいです。

たくさん応援してくださり、チームの方々には感謝しています。ありがとうございました。



9/5

今日は朝からクビトバやフェデラーなどのプロの試合をみました。たくさん勉強になる所があり、プロの迫力や観客の応援が凄くて、見ていて楽しかったです。そしてこれからの自分のテニスに活かしていけるようなプレーやオンコートの態度など凄く勉強になりました。

午後は会場を出てステーキ屋さんに行きました。お客さんたちはみんなドレスやスーツなど綺麗な洋服を着ていてとても上品な雰囲気でした。ステーキは量がたくさんあったのですが、とても美味しかったので全て食べてしまいました。店員さんがとても面白くて楽しくお食事をする事ができました。

ステーキ屋さんの後には、今から 80 年位前に建てられた昔までは世界一高いビルと言われていたエンパイア・ステートビルに登り、ニューヨークの夜景を眺めました。凄く綺麗でニューヨークの街が輝いて見ました。その後はブロードウェイを歩いてタイムズスクエアを訪れてホテルに帰りました。

9/6

今日はアーサー・アッシュ・スタジアムでビーナス・セレナ・ジョコビッチの試合をみました。どの選手もたくさんの観客がいる中で集中力を保ちながら冷静にプレーをしていて、凄く勉強になりました。

最後のジョコビッチの試合はコートサイドのベースライン位の所から見る事ができ、ラリー中のポジショニングやサーブなどを間近で見事ができました。そしてディフェンスからオフェンスへの移り変わりや振られ際のフットワークなど色々学べる事が出来ました。

日本に帰ってこの事を忘れず練習に活かしたいと思いました。



舌 隆史 コーチより

Takashi Zetsu

September 6, 2015

US Open Junior Qualifying 2015

Yuki Mochizuki & Eri Shimizu

For the fourth consecutive year, I have had the privilege of working with Wilson and the High School Tennis Federation in assisting

the high school boy's and girl's national champion. This year, I was fortunate to have met two very wonderful students in Yuki and Eri. Their tennis abilities are among some of the best that I have seen coming from Japan and I enjoyed every moment with them.

I found Yuki Mochizuki to be a very easy going individual with great confidence in his tennis. His game is very smooth yet powerful and his even keel mentality allows him to stay calm even on a big stage like the US Open. Since it was his first trip outside of Japan, I was worried that NYC might be a bit overwhelming but he was just fine. Unfortunately due to a lack of match play leading up to the tournament, it took Yuki a full set before his engine started going. I feel like mid-way through the second set, he started to play much better but I think it would have been a much closer match if he played to his potential from the start. It is quite difficult getting into a match rhythm when you have not been consistently on tour like the rest of the field. Regardless, I think Yuki was able to experience some great things here in NY and I hope he uses it as a stepping stone in his tennis career moving forward.

Eri Shimizu was a player I met in Saitama about 4 years ago during a practice session at her tennis club. She was very petite at the time but she had the heart of a true fighter. I recall asking her what her name was and wishing her great success because I thought she had the potential to be a champion one day. I was delighted to see that the same little girl from 4 years ago was still playing hard and still passionate about tennis. She plays hard until the very last point and will not go away easily even if she is down match point. Her sliding on the hard court shows her athleticism and a great sense for defense. If she improves on her offensive strategy starting with her serve, learns how to use court space more efficiently and effectively, and increases the number of 3 set match play throughout the year, she has a great deal of upside. Much like Yuki, Eri had a slow start in the first set but came back and fought hard before losing in straight sets. She fought off numerous match points by her opponent but her uphill battle proved to be a little too much.

I believe each year, the students get to learn and experience so much thanks to this US Open wildcard. I think that this year's players still have a lot of upside in their tennis game and I hope they will take the valuable lessons they learned in NY back home with them, and



continue to work hard. It was truly a pleasure working with Yuki and Eri and I wish them the best of luck in whatever they pursue in their life.

佐藤 直樹（福島県委員長）

予選初日

清水映里選手は Yue Yuan(CHA)[8]の選手と対戦 0－6 4－6

1st セットはストロークで 相手のカウンターに対応できず、焦りのある試合展開になってしまいました。

もう少し冷静になってボールヒットすればエラーも減るし、力みすぎて、ボールに伸びがないようでした。2nd セットは相手サーブのブレイクでスタート、動きがよくなってきました。ストロークでウイニングショットを打てるようになり、通常の動きに戻ってきました。中盤も一進一退であったが惜しくも相手に押し切られて、終了してしまいました。

セカンドセットからの動きが初めから出来ていればと、非常に悔しい思いをした試合でした。

望月勇希選手は Alex De Minaur(AUS)[6]の選手と対戦 1－6 4－6

1st セットは相手選手が打ってくるボールに対して合わせるだけになる場面や、ウイニングショットが打ち切れずに置きに行ってしまう場面などで、カウンターをもらってしまい、簡単にセットを落としてしまいました。2nd セットは自分からしっかりと打っていき、持ち前のプレースタイルで試合を進めることが出来たが惜しくも敗れてしまいました。

対戦相手の Alex 選手は予選を勝ち上がり、本選も準決勝まで進出しました。

2名の選手に言えることは、ほぼ同じような展開で試合が進み後半になり、手応えを感じることもできる試合でした。しかし、残念ながら初戦で敗退してしまいました。大会に出場している選手は、直前に試合を入れて US Open に臨んできているようでした。予算の関係もあると思いますが今後は、入り方を調整すれば全国高体連テニス部でも「世界で勝てる」「結果の出せる」事業になると考えられます。

この全米オープンテニスを平成29年度全国高校テニス大会に取り入れられるように調査をしてきました。まず大会規模の大きさ及び観客数の多さでした。また、魅力のある大会作りが非常に感じ取られました。内容については下記に列記します。

- 1 食事 フードコートの充実。食事会場付近には巨大モニターがあり試合を観戦することも出来る。
- 2 試合間の音楽 試合を盛り上げるために観客の多いスタンドでは音楽を流し、観客の様子などをオーロラスクリーンに映し出している。

- 3 アナウンス 試合前の選手紹介など
- 4 ネット環境の充実 ※現在のライブスコアなどをスマートフォンやタブレットなどで確認
することができ、選手を観戦する際のコート確認や移動が容易であ
る。
※トーナメント及び結果（ラウンドごとに表示されている）
※スケジュール（当日の各コートの試合スケジュールを確認できる）
※選手紹介（各選手のランキングポイント、今年度の試合の結果等）
※ビデオ・写真（試合中のシーンや試合後のインタビュー等）
※ニュース（Pre-Match Analysis）等
※ショップ（ネットショッピング）
- 5 アクセス 地下鉄の駅を降りた瞬間にナショナル・テニス・センターである。地下鉄は24
時間動いているので、深夜1時過ぎに終了した試合でも観客は帰宅することが
できる。
- 6 会場のゴミ問題 ゴミ箱は随所に設置されているが、ゴミが目立っていた。マナーの問題。
- 7 会場内での歴代チャンピオン掲示
歴代チャンピオンがプレートに掲示されている。また、チャンピオンの写真入
りフラッグが掲げられていた。
- 8 セキュリティ 大きなバックの持ち込み禁止（ロッカー設置）、手荷物検査、
金属探知機の活用。
- 9 ブース US Open の公式グッズやショップが多数設置されていた。
- 10 カメラ 各コートにカメラが設置されており、ライブ中継が行われていた。
- 11 放送局 オープンスタジオで出場選手・スペシャルゲストへのインタビューを間近で観
覧することができる。



遠征事業のメンバーとして

今回この様な素晴らしい大会に高体連チームとして参加させて頂きありがとうございます。

2年後のインターハイ開催県の代表とし、US Openに行き身体や心で感じとって参りました。

29インターハイでは上記で上げられる意外にも魅力・活気・選手及び応援観客が楽しめるような環境作りをし、大会を成功させたいと考えています。

最後に選手より

望月勇希 選手（清風高校）

このUS Openで学んだこと得たことはこれからのテニスに生かして行きます。

高体連の皆様、アメアスポーツの皆様、本当にありがとうございました。このUS Openに派遣していただき感謝しています！結果はよくなかったですが、すごく楽しい日々を送ることができました。もっと海外でプレーしたくなれたのは、このUS Openで試合をして今まで味わったことのない感覚があったからです！これからもテニスを心の底から楽しみたいと思います。

本当にありがとうございました。

清水 映里 選手（山村学園）

この度は日本の高校生の代表としてUS Openという素晴らしい大会に出場させて頂きありがとうございました。

そして、日頃からサポート頂いているアメアスポーツジャパンの方々と全国高体連テニス専門部の先生方、現地の舌様、コーディネートしてくださった方々にとっても感謝しています。沢山の方々のお陰でなんの不安も無く試合に臨めることができました。ありがとうございました。また、山村学園の校長先生、監督、チームの仲間、クラブのコーチ、仲間とそのお父さんお母さん、両親、親戚等本当に沢山の応援を頂きました。ありがとうございました。

結果は予選1R負けでとても悔しい思いでいっぱいですが、このUS Openという舞台で試合をすることが出来た事、自分にとって凄く貴重な経験になりました。この経験をこれからの自分のテニスに活かし、ハードワークにも耐える身体づくりや自分の意識をもっと高くし、支えて頂いている皆さんにいい報告ができればと思います。

そして、これからも日々の練習を積み重ね日本のテニスプレイヤーとして恥じないようにがんばります。

お世話になりありがとうございました。

終わりに

見聞を広めるためのニューヨーク州内の観光名所の見学や食事シーンの写真です。



船上からの自由の女神見学



自由の女神



ブロードウェイにて



食事風景



集合写真